



ワア~かわいい!!!  
でも…… ちょっと待って

# 野生動物は、 あなたのペットでは ありません！



果樹園でミカンを盗み食べているサル

ニホンザルには、エサを与えない。  
見つめない。近づかない。

ニホンザルにエサをやったりするとサルが人を怖がらなくなってしまう。数年前には、そのようなサルが学習塾に侵入して捕らえられたということも起きています。

ニホンザルと出会ったら、街中であれ、山奥であれ、絶対にエサを与えてはいけません。また、目を見つめると威嚇されたと思い、視線をそらした時に跳びかかってくる場合があります。

サルに会ったら、胸をはって堂々とした態度で、サルに背中を向けずに立ち去りましょう。決して近づいたり、からかったり、大声を出したりせず、そっとしておくことが大切です。

野鳥のヒナを安易に持ち帰らない。



巣から落ちたヒナをみつけ「親とはぐれて、かわいそう。」「ノラネコに襲われたらどうしよう。」という、やさしい気持ちでヒナを家に持ちかえる人がいますが、実は、これらは巣立ちの時期を迎え、まだうまく飛べない幼鳥で、親鳥がそばにいることが多いのです。

野鳥のヒナを見つけても、そのままにして、すぐにその場所を立ち去りましょう。あなたがヒナの近くにいる限り、親鳥は警戒して近づいてきません。そばにネコなどがいる場合は、付近の木の枝にそっととまらせてあげてください。

## 野生動物には、エサを与えない。

野生動物にエサを与えたり、餌付けしたりすると、その動物は人がくれるエサをあてにして、野生の習性を失い、人里に定着してしまいます。その結果、次のような問題が発生します。

作物や樹木に被害を与える。(ニホンザル・タヌキ・タイワンリスなど)

人間の食べ物を奪うなどの悪さをするようになる。(ニホンザル・トビなど)

人家に出没したり、棲みついたりして、フン害や騒音の原因となる。(ハクビシン・タヌキ・アライグマ・ドバトなど)

エサの食べ残しで道や川などが汚れる。

動物に伝染病を流行らせる一因となる。(タヌキ等は餌付けによりペットのイヌや仲間同士との接触が増え、毛が抜け落ちて死んでしまう疥癬<sup>かいせん</sup>という病気等にかかりやすくなります。)

動物から人間に伝染病がうつるおそれがある。

餌付けしている動物だけが増え、ほかの野生動物の生息環境を悪化させる。

また、バーベキューの余り物を河原に残してきたり、収穫に適しない野菜などを畑に置いておいたりすることも、野生動物の側からみれば、人間からエサをもらっているのと同じです。

野生動物にエサを与えたり、餌付けしたりすると、その動物は人がくれるエサをあてにして、野生の習性を失い、人里に定着してしまいます。その結果、次のような問題が発生します。



公園や河原で鳥や小動物にエサを与える光景をよく目にしますが、このような行為はやめましょう。

## アライグマは原則として飼えません。

として飼うために多数輸入されました。幼獣のうちは愛嬌があって、とてもかわいらしい動物ですが、成長すると個体によっては性格が荒くなり、個人では飼い続けることが難しくなります。

また、アライグマ回虫という危険な寄生虫を持っていることもあり、アメリカではこれに感染した幼児が死亡した例もあります。平成16年6月に「特定外来生物の生態系等に係る被害の防止に関する法律」が制定され、国外から持ち込まれる特定の動物等の「飼育・栽培・保管・運搬・輸入・販売・譲渡・野外に放つこと」等が原則禁止されました。

ペットショップ等で外国産の動物を買うときは、一度ペットを飼ったらそのペットの一生の面倒をみる覚悟がいります。成長したペットを野山に捨てることは絶対にやめましょう。

アライグマは北アメリカ大陸原産の動物で、日本にはかつてのTVアニメの影響もあり、ペット



アライグマ



タイワンリス



ハクビシン

## 湘南地域鳥獣対策協議会

平塚市 藤沢市 茅ヶ崎市 秦野市 伊勢原市 寒川町 大磯町 二宮町  
神奈川県湘南地域県政総合センター環境部